



向陽高校 吹奏楽部対談



進学先

**大阪公立大学
農学部**

井本 光紀さん
向陽高校 吹奏楽部



進学先

**和歌山大学
経済学部**

辻 結菜さん
向陽高校 吹奏楽部



進学先

**大阪公立大学
生活科学部**

西野 来花さん
向陽高校 吹奏楽部



インタビューアー

岡 哲司
(AC ターミナル校カウンセリングスタッフ)

学部や志望校を決めた時期と、決め手は？

井 本：高3の4月ぐらいに決めました。高1・高2の時は、薬学部に行けたらと思っていたんですけど、6年通うことを考えたら他の学部の方がいいかなと思って。やりたいことが決まっていなかったので、将来の幅をひろげたいと思って、いろんなことが学べる農学部になりました。

辻：私は企画の仕事に興味があって経済学部になりました。和大的2年生からのコースに企画の仕事に就きたい人のコースがあって。

西 野：私は食に興味があったので。食に関する職業に就きたいと思ったのと、医療関係の仕事にも興味があったので、病院で働く管理栄養士になりたいと考えて決めました。もともとは、高2の4月ぐらいに大阪公立大学の農学部決めていたんですけど、数Ⅲがきついなと思って(笑)。管理栄養士をめざして生活科学部にしました。

推薦入試を考えたのはいつ頃ですか。(井本さん・西野さん)

西 野：推薦を出せたらいいなと高2くらいから思っていました。高1のときの評定がわりと良かったので。高2のときに「高3でもいい感じだったら出そう」って。そう考えていて、高2のときの評定が英語だけ4だったので、英語を伸ばそうと思って高3からアカデミーに通いました。

井 本：もともと推薦で行けたらいいなとは思っていました。農学部が共通と書類で行けるって知って、決めました。

高1・高2のときの、勉強と部活の両立はどうでしたか。

井 本：普段は部活のあと帰ったら寝るので特に勉強をしてなかったんですけど、定期テストや小テストはきちんと点を取るよう頑張っていました。テスト前は勉強に集中して。基本問題は2周くらいしていたかな。

辻：私も普段は部活ばかりで勉強時間はなかったです。

西 野：同じ。普段は部活して帰って寝て、朝起きて、授業のあと部活して寝る、みたいな繰り返しだった。でも、授業のノートはちゃんととるようにしていたかな。提出があるから(笑)。テスト勉強はギリギリ間に合わせる感じでした。部活は楽しかったけど、大会前、定期演奏会前はめちゃくちゃしんどかった。できなくて泣いたり。

辻：精神的にきつかったよね。

西 野：辞めたいと思ったこともあったけど、ここまでできたら続けるしかないって感じだったかな。

受験でしんどかった時期は？

井 本：共通前の12月、1月くらいはしんどかったです。直前の焦りもあって。模試では得点できていたけど、まぐれかなとか思っていたので自信はなかったです。

西 野：私も、自信はなかった。本当にいけるのかなって。模試は得点できているというか、ずっと変わらなくて。伸びなくて。だから本番でとれるのになって心配でした。

辻：私は共テ終わってからがしんどかった。数学がヤバくて。二次で数学を使うのしんどいなって感じでモチベがなくて。でも数学は「得意ではないけど、好き」だから頑張ろうってなりました。そうなるまでの期間がしんどかった。結果、二次の数学はけっこうできました。二次の英語は英作の解答用紙が3枚あって、焦ったけど、最低限のことは書けました。

高3からAcademyCampusに来てくれたきっかけは？

西野：もう高3だし、英語もヤバいなと思って塾を考えてたときに、先輩から「ACいいよ」って聞いて。で、体験授業を受けて入りました。みっちゃん(井本さん)と、吹奏楽部の他の友だち一緒に。私は、塾に通うなら集団授業がよくて。そうじゃないと自分は続かない気がしていたので。

辻：私は二人とは2回分くらいズレて入りました。吹部いっぱいいるからアカデミーに行くようになって感じて。

井本：私は塾は考えてなかった。でも体験の前日くらいに友だちに聞いて。体験を受けたら、友だちも入るし入ろうかなって流れで。

ACの授業や特別講座について教えてください。まずはクラスライブ。

西野：吉田先生の共通テスト対策英語で「英語の読み方」が分かって、読むのが速くなりました。高1から受けておけば良かったなって思いました。

井本：読み方とか。どうやって解いていくのかっていうのを教えてもらえたのが良かったよね。

辻：私は、チェックテストで強制的に単語を覚えられるので、それがすごく助かったなっています。

西野：あと、夏前から長沼先生の共通テスト対策国語を受けました。もう国語はあの授業だけでいけました(笑)。先生の「古典文法集」がよくて。古文漢文はガチでほぼあれだけ。あと授業で聞いた読み方や解き方が良かった。

辻：国語は勉強法が分からなかったから、受けておけば良かったー。

井本：私も12月に古文漢文ができないことに気づいて焦った。

西野さんが受けてくれた、速読聴英語はどうだった？

西野：夏から共テ前まで受けました。1日1長文ってことで。夏休みの部活のあとはやる気がでないけど、速読聴英語だけでも受けに来ようと思って続けていました。やっぱり読むのは速くなって、wpm(words per minute: 1分間に読めるワード数)が伸びました。

サテライン講座を利用した理社特訓はどうだった？

西野：1教科をずっとやるのは苦手なので、一日でサテライン講座を受ける理社特訓はきつかったけど、けっこう身についた気がします。化学の理論が苦手だったんですけど、亀田先生の化学で解けるようになりました。

利用してくれていた自習室についても教えてください。

西野：私は一人だとあんまり勉強できなくて。(辻さんと)一緒に来て一緒に勉強するのが良い感じだった。

辻：私、ちょっと消えてた時があったけどけどな。共テ前かな。体調崩してしばらく。

西野：あったあった。いつも二人で来てたから、アカデミーの警備員さんが「あれ？今日も一人？」って心配してくれてたもん。

辻：私は勉強するのが嫌いだから、きっかけがないと難しくて。一緒にアカデミーに自習に行くってなったら、帰りにいっぱい話ができるのがよかった。それがあったから勉強だけでしんどくならず済んだかな。

受験勉強の進め方や、参考書について

井本：基本は学校の問題集を中心に勉強していました。受験前は、ほぼ共テの勉強だけ。共テ用の教材を買ってやっていました。地理の参考書は、黄色の「大学入学共通テスト“面白いほど”シリーズ／KADOKAWA」を使ってた。社会が休憩みたいな感じで。参考書を読んで、その分野を共テの問題集で解くっていう繰り返しでした。

西野：私は、模試とかで分からなかったところを参考書に書き込んで、付箋を貼ってました。自分が書き込んだのを思い出して、問題を解くって感じで。

辻：私は他の参考書を使ってたけど、結局最後は教科書を使いました。模試とかで出た問題を教科書に書いてました。

井本：数学は「チャート式／数研出版」の黄色中心でした。いけるかなと思ったら共テの過去問。

辻：私は共テの数学は11月にヤバいって気づいた(笑)。それからはひたすら模試の直しをしてました。

西野：数学は、夏にチャートのⅠAⅡBの例題を一通りやって。分からなかった問題は2周目やって。やったってことに満足してしまっけこうほったらかしにした結果、共テで最悪な感じになってました。

辻：英語は、ほぼ単語しかやってなかったです。他はアカデミーの授業だけ。

西野：あと、私はけっこうすぐ飽きるので、集中力が切れたらすぐ教科を変えていました。「数学をやって、暗記系をやって、国語やって、暗記系…」っていうふうに、暗記系をはさむようにしていました。

井本：そんなの考えてなかった(笑)。でもアプリで時間を記録していたから、この教科が少ないなと思ったらそれをやるようにしていました。

辻：私も時間は記録してた。見せられないけど(笑)。

後輩へのアドバイスや、メッセージをお願いします。

西野：部活をやっている時は、部活に集中するのも大事かなって思います。吹奏楽部は9月までだから焦るけど、やりきってほしい。

辻：部活も勉強もしんどいけど、仲間と話をしていたら楽しいからそういう時間も大切にしていたら気が楽になってがんばれるかなって思います。

井本：他の部活の人が引退する中で、吹奏楽部は夏休みもあるから、焦って他の人がうらやましくなるかもしれないけど、吹部のみんなで励ましあってがんばったらいいと思います。

2人：めっちゃいいこと言うー！！

編集後記 ～インタビューを終えて～



3名とも、忙しいクラブの代表である向陽高校吹奏楽部に所属しながら、部活と勉強の両立を見事に実践しました。井本さんと西野さんは、高1・高2の時から定期テストや日々の勉強を全力に取り組んだ結果、評定平均も飛び抜けて高く、その成果が大阪公立大学推薦合格に繋がりました。また、西野さんと辻さんは、受験期は毎日22時まで一緒に自習室で勉強を頑張っていました。同じ部活の仲間と一緒にだから頑張れたのだと思います。吹奏楽部は高3の8月末が部活引退ですので、受験生の夏休みに他の人ほど勉強時間を確保することができません。そこでACでは8月コンクール後に「吹奏楽部DX(1日12時間の勉強会×3日間)」を開催しています。もちろんこの3人も参加してくれました。その様な機会も上手に活用し、ヘロヘロになりながらも、みんなと一緒に明るく楽しみながら勉強時間を確保できたことも、志望校合格の一つの要因になったと思います。受験に対して、様々な不安を抱えつつも、吹奏楽部で身に付けた自分に負けない強さを発揮し、見事に合格を勝ち取りました。高校生活の経験が、必ず今後の人生に生きてくるだろうと思います。井本さん、辻さん、西野さん、合格おめでとう！本当にお疲れ様でした。